

平成29年度
決算報告書

第6期事業年度

自 平成29年 4月 1日

至 平成30年 3月31日

平成29年度決算報告書

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	1,778	1,761	△17	(注1)
施設整備費補助金	290	266	△24	(注2)
自己収入	180	174	△6	
財産売払収入	21	16	△5	(注3)
農業大学校収入	8	8	0	
依頼試験手数料収入	1	1	0	
受託研究等収入	136	125	△11	(注4)
その他収入	14	24	10	(注5)
前中期目標等期間繰越積立金取崩	34	29	△5	(注6)
合 計	2,282	2,230	△52	
支出				
業務費	384	354	△30	
研究経費	248	253	5	(注7)
受託研究経費	136	101	△35	(注8)
一般管理費	230	248	18	(注9)
人件費	1,344	1,292	△52	(注10)
施設等整備費	324	295	△29	(注11)
合 計	2,282	2,189	△93	

(注1) 退職手当の支給額及び支給人数等が確定したことに伴い、特定運営費交付金収入が予算額に比して17百万円減少しました。

(注2) 施設整備費が確定したことに伴い、予算額に比して24百万円減少しました。

(注3) 生産物等売払収入が見込みを下回ったため、予算額に比して5百万円減少しました。

(注4) 受託研究等収入のうち、研究期間が年度を跨ぐものは次年度に計上することになるため、予算額に比して11百万円減少しました。

(注5) 雑収入（消費税還付等）が見込みを上回ったため、予算額に比して10百万円増加しました。

(注6) 前中期目標等期間繰越積立金の取崩額（調査研究体制強化のための施設・設備の改善や水生生物センター敷地内里道水路取得等の経費）が確定したことに伴い、予算額に比して5百万円減少しました。

(注7) 補助金収入等を財源とした経費を研究経費として計上したこと等に伴い、予算額に比して5百万円増加しました。

(注8) 補助金収入等を財源とした経費を研究経費として計上したほか、研究期間が年度を跨ぐものは次年度に計上することになるため、予算額に比して35百万円減少しました。

(注9) 電力調達手法の見直しや間接経費の獲得努力等により9百万円の経費節減を実現したものの、台風被害による突発的な大規模修繕等を行ったことにより、予算額に比して18百万円増加しました。

(注10) 退職手当支給額及び給与等支給額が確定したほか、業務運営体制の見直しを図り人件費の節減に努めたことに伴い、予算額に比して52百万円減少しました。

(注11) 施設整備費及び前中期目標等期間繰越積立金を財源とした経費の支出額が確定したことに伴い、予算額に比して29百万円減少しました。